

《令和4年度 茨城支部ニューズレター 第1号》

「第1回資格更新研修会」が行われました。

1 日時 : 2022年9月4日(日) 13:30 ~ 16:30

2 場所 : Zoomによるオンライン開催

3 参加者 : 総数 39名

(茨城支部の臨床発達心理士会員限定)

4 テーマ : 「WISC - V 知能検査の内容を学ぶ」

5 講師 : 日本臨床発達心理士会茨城支部 支部長, 日本版 WISC - V 刊行委員
大六一志 先生

6 内容

2月に刊行された日本版 WISC - Vについて、WISC - IVからの改訂点、正しい実施方法と集計方法について、ご講義をいただきました。

○検査の構成

5つの主要指標と5つの補助指標について

- ・「知覚推理指標」が「視空間指標」と「流動性推理指標」の2つに分かれた。
- ・ WISC-IV の4つの指標得点は WISC-V では5つになり、主要指標と呼ばれるようになった。

○実施法

WISC - IVから変更になった点を踏まえて、各下位検査の実施方法について学んだ。

- ・ 検査の概要 (適用年齢や実施時間、時間の測定、中止条件など)
- ・ 各下位検査の実施方法や注意点について

○集計の手順

- ・ 集計のページが WISC-IV の倍になり、4ページになった。

①「サマリー」ページ

FSIQ や指標得点の算出、合成得点の記述分類の変更について

②「主要分析」

主要指標や下位検査の S/W 分析および対比較について

③「補助分析」ページ

補助指標の算出および対比較について

④「プロセス分析」ページ

プロセス評価点や標準出現率の算出、および対比較について

WISC - IVからの改訂により，さらに掘り下げた分析が可能になったという印象を受けました。それに伴い，検査者である我々は，WISC - Vについて正しく理解し，熟達を目指すことが必要であると感じました。私自身，子どもたちの支援に携わる立場として，WISC - Vの特性を十分に理解し，有効に活用していきたいと思います。

(文責 松本 一恵)

<お知らせ>

第1回公開講座、第2回資格更新研修会

『日本版 WISC - V の理解と活用—知的発達のアセスメントはどう変わるか—』

講師：大六 一志先生（日本臨床発達心理士会茨城支部 支部長，日本版 WISC - V 刊行委員）

期日：2022年10月16日(日) 13:30～16:30

会場：Zoom によるオンライン開催

※受付は終了いたしました。